

小 須 大

ワカメ芯抜き挑戦 漁業体験学習 仕事の大変さ実感



塩蔵ワカメの芯取り作業に取り組む児童たち＝石巻市北上町十三浜

石巻市大須小（須田 漁業体験学習が10月23の作業小屋で行われた。豊校長、児童10人の日、同市北上町十三浜 あいにくの恵天候で、

予定していた仲合でのホタテの収穫作業見学は中止となったが、全児童が塩蔵ワカメの芯抜きや袋詰め作業などに挑戦した。
カツパ姿の子供たちは漁業生産組合員（はまんの）の関係者から助言を受け、ワカメを茎と葉に分けたり、計量器に乗せて100gと150gの2種類に袋詰めしたりした。
ワカメが大好きという阿部海香さん（5年）は「初めての作業で楽しか

つたけど、仕事の大変さが分かったと感想を話した。
児童たちは別の作業小

作業者の苦勞も実感して、ホタテの殻むき体験学習は海の知識や

漁業・養殖業について学べ、職業観や勤勞観を養った。
東日本震災からの復興を支援する一般社団法

人「Sweet TR et 311」の協力で、市コラボスクール推進事業として実施された。

心の復興 書で表現

4日まで 高校生ら力作45点
大倫書道展

東松島

「震災に負けず、残していききたい日本の美しい伝統文化」をスローガンに、東松島市を拠点に活動する大倫書道会（会長の瑞鳳会長）の第9回大倫書道展が、同市中央の瑞鳳会館で開かれていく。東日本大震災を乗り越え、果敢に書に打ち込む会員の意欲作を紹介している。

今回は一般部の選抜会員による漢字、近代詩、篆刻（ごんご）の新作26点、国内4大公募展の一つ第29回展覧国際書展の入賞・入選作品の計45点を展示している。
一般部では、高校生がクナ書や漢字や近代詩、自作の俳句を独創性に富んだ筆致で描いた力作が4時半まで）



目を引く書道展＝蔵しっく

目を引いている。
末永会長は「賞が作品に込めた思いや、心の復興に向けて前を向く気持ちを感じてほしい」と話している。
4日まで（午前9時～午後5時、最終日は午後